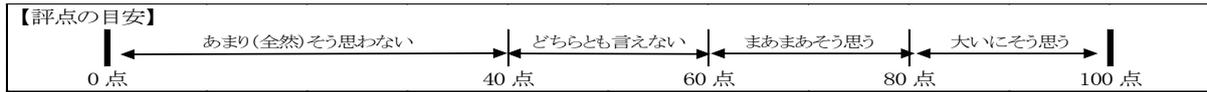


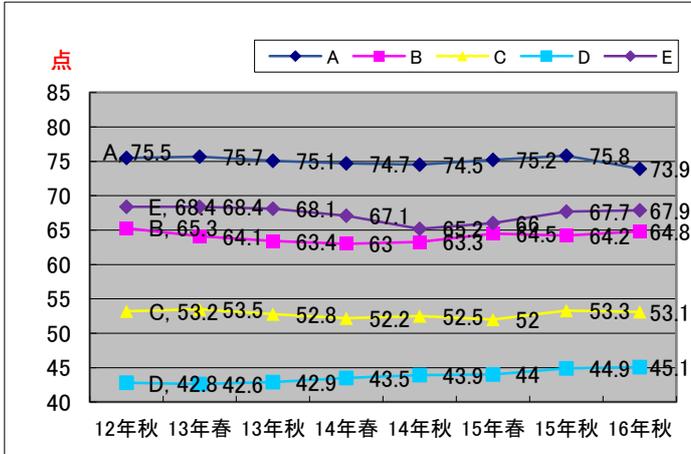
## 生活や食、環境、福祉に対する考え方

生活や食、環境、福祉、地域に対する意識を調査しています。自身の考えに合うかどうか、100点満点で任意の点数を記入してもらい、平均点を算出しました。(図52～57)



\* 16年から、年1回・秋の調査時としており、16年春は調査していません

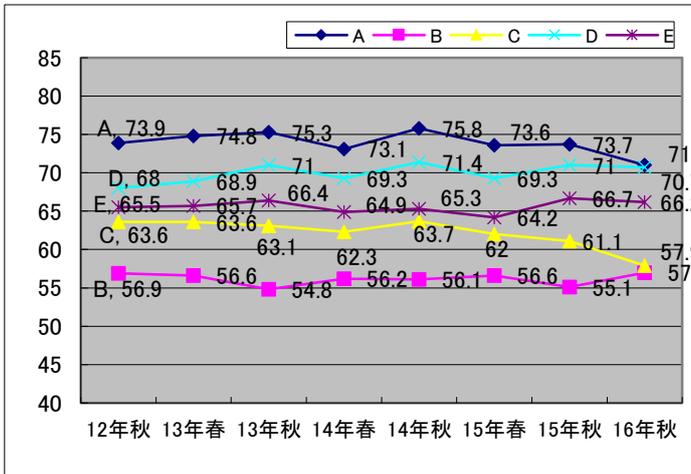
図52 生活・くらし



- A. 家族の一体感や絆を深めることを第一に考えている
- B. 自分で自由に使える時間は、家で過ごすのが好きなほうだ
- C. 余暇は、家族サービスや旅行で過ごすことにしている

家族の一体感や絆が大切だと考える人が多く、旅行や外食より、家で過ごすことが好まれています。また、「消費よりも貯蓄」であることも読み取れます。

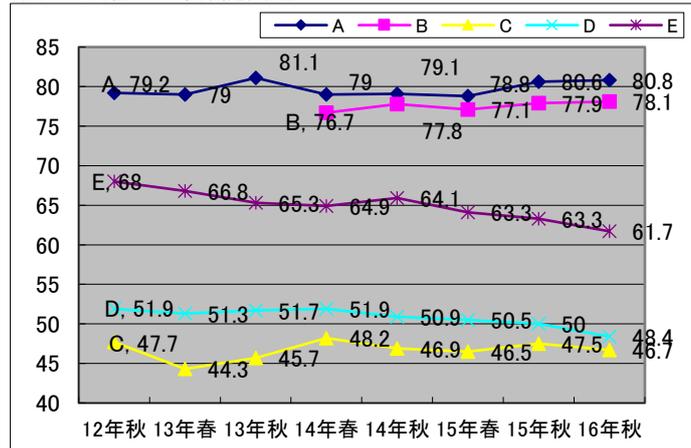
図53 食の安全・農業問題



- A. 多少値段が高くて安全・安心な食品を購入する
- B. 家計のため低価格の食品を探して購入する
- C. 多少値段が高くて地産地消を大切にしている
- D. 輸入農産物は敬遠する
- E. 風評被害が心配だが、放射線量の高い産地の食品手が出ない

項目間の順位は変動がありませんが、「地産地消」については、点数が微減しています。食品を選ぶ際は、「安全・安心」が最優先であり、輸入農作物の安全や放射線量は気になるものの、手頃な値段で購入できることも大切なようです。

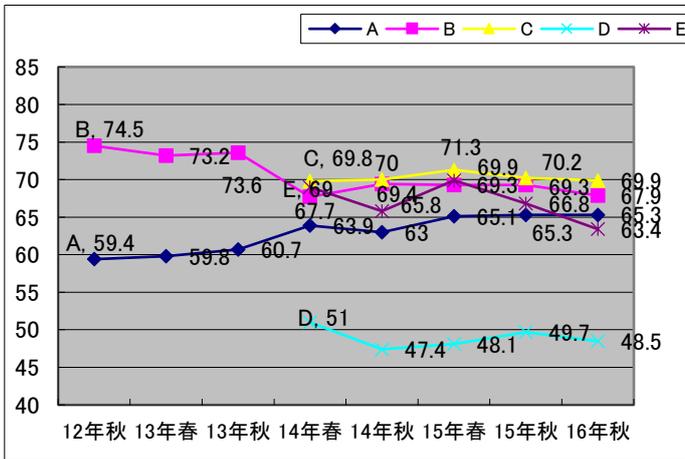
図54 災害防止、環境問題



- A. 自然の脅威の前では人の力には限界があり、どうしようもない
- B. 国は、災害防止のための補強工事や情報提供を、もっと行うべきだ
- C. 我が家の災害に対する備えは十分である
- D. 災害ボランティア活動には積極的に参加したいと思う
- E. 少々不便でも、積極的に省エネに協力したい

項目間の順位に変動がなく、点数もあまり変化がありません。『自然の脅威の前では～』は、全ての項目の中でも1番点数が高くなっています。一方『省エネ』や『災害ボランティア』については、少しずつ点数が低くなってきており、急激ではないが意識が薄れていく様子が伺えます。

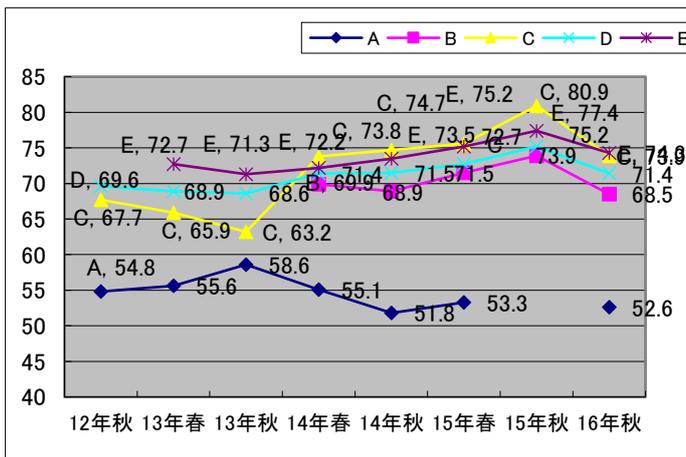
図55 エネルギー政策



- A. 経済性を重視した、安定供給が可能なエネルギー政策を取るべきだ
- B. 多少の不便があっても、安全性を重視したリスクの少ないエネルギー政策を取るべきだ
- C. 太陽光や風力、水力等、再生可能な自然エネルギーを主力とするべきだ
- D. 安全性を確保した上で、問題がなければ原発の再稼働は仕方がない
- E. 今の電気料金は、高いと思う

「安全性重視」(B)と「経済性重視」(A)の点差は年々縮まり、今回の調査では「安全性」が「経済性」を2.6点上回るのみとなりました。しかし、原発の再稼働については慎重な考えの人も多く(D)、エネルギー政策において「何が暮らしに良いのか、直には判断できない」気持ちである人が多そうです。

図56 福祉・税金



- A. 将来の社会福祉政策の充実のために、税負担が重くなっても仕方がない
- B. 国は、収入による格差を減らすよう、公平な税負担を求めるべきだ
- C. これ以上の税負担は耐えられない
- D. もっと、高齢化対策(年金制度等)の充実を図る必要がある
- E. もっと、少子化対策(育児支援制度等)の充実を図る必要がある

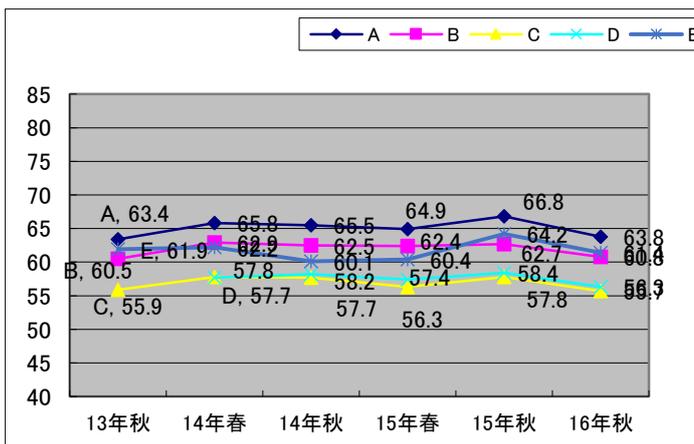
「これ以上の税負担は耐えられない」の点数は下がりました。過去、消費増税(5%→8%)の際に点数が上がっていましたが、今回は、消費増(8%→10%)の延期が影響したと思われる。将来の社会福祉政策充実のために、税負担が重くなっても仕方がない」は、このテーマの中で1番点数が低いものの、50点は超えており、ある程度の負担がなければ福祉の充実が難しい現実はある程度認めているようです。

★ 高齢化対策と少子化対策 年代別

年代	高齢化対策	少子化対策
35歳未満	66.3	74.9
35歳～45歳未満	69.9	76.9
45歳～55歳未満	68.1	70
55歳～65歳未満	73.9	74.8
65歳以上	75	75.6

『高齢者対策の充実』と『少子化対策の充実』の平均点を年代別に集計したところ、どの年代においても、高齢化対策よりも少子化対策の方に高い点数をつけています。シニア・高齢者においても、少子化への危機感が高いことが伺えます。

図57 地域



- A. 自治会、社会奉仕、避難訓練等地域の行事には積極的に参加していきたい
- B. 地域の公民館や集会場、公園を、積極的に利用していきたい
- C. 地域の子供会や青年会、婦人会、老人会等に参加していきたい
- D. 自分の地域を良くするために、もっと、地域づくりやまちづくりに参加していきたい
- E. 自治会やPTA等地域の役員は、したくない

全ての項目が50点～60点台で、項目間の点数差は比較的小さく、点数の増減も少なくなっています。「地域の行事や自治会の活動に参加することはかまわないが、役員までは気が重い」様子がわかります。